

令和7年度

学校自己評価結果報告書

2026/4/1

文部科学省・専修学校における学校評価ガイドライン
(平成25年) 準拠

1. 学校の教育目標 令和7年度

令和7年度

1 ビジョン

地域のすべての産業と高齢社会を包括的に支援できる組織になる。

2 ビジョンの実現に向けたテーマ

地域社会から必要とされる組織であり続ける。

地域社会から必要とされる人材を提供する。

3 法人理念

思いやりと創造

4 学校経営スローガン

「地域のために」の精神を大切にし心のこもった介護を施せる人材の育成を図る。

地域の関連施設との連携を密にした充実した実習の実施。

5 重点教育目標

(1)教員の研鑽に基づいた授業内容の充実に努める。

(2)①介護福祉士国家試験合格率の向上及び就職率100%(日本人)を達成する。

②留学生についても国家試験合格圏内到達を目標に指導を行う。

(3)効果的な学生募集に努める。(日本人10, 留学生15)

(4)留学生の安全・安心100%担保できるように努める。

(5)凡事徹底に努め組織として動く。

(6)全感染症予防対策の徹底を図る。

6 具体的な対策

(1)教職員の授業力を高めるとともに実習施設との連携強化を図る。

(2)効果的な模擬試験、補講を実施し、自己学習時間確保と有効な活用を図る。

(3)担当教員による進路具現化に向けた個別面談を定期的実施する。

(4)関連施設と連携した就職合同面談会、施設訪問を実施する。

(5)ガイダンス、オープンキャンパスの広報内容の充実と、SNS・地元メディア等を有効に活用した広報活動を実施する。

(6)留学生担当者、担任による生活全般にける定期的な面談を実施する。

(7)職員間の報告、連絡、相談体制を強化し、活気は触れた職場づくりを行う。

(8)教職員、学生による全感染症の予防対策を徹底する。

(9)学校全体の決まりや寮の決まりを遵守させ、規則正しい健全な団体生活を送らせる。

7 地域社会との関係

(1)地域の公民館との連携を図る。

(2)ボランティア活動(他団体との連携)への積極的参加を図る。

(3)市内の介護をリードする人材を育成するという教育事業としての責任を果たす。

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

(1)日本人学生・留学生ともに介護福祉士国家試験合格率向上に努める。

(2)進路実現100%に努める。

(3)授業の質の向上を図る。

(4)留学生の安全安心100%を達成する。

(5)報告・連絡・相談体制を推進する。

(6)ガイダンス・オープンキャンパス・地元メディアによる広報活動の充実に努める。

(7)コロナをはじめ感染症予防対策の徹底に努める。

3. 評価項目の達成及び取組状況

(1) 令和7年度

| 評価項目 | 適切:4, ほぼ適切:3, やや不適切:2, 不適切:1 | | | | |
|--|---------------------------------|---|---|---|--|
| ・学校の理念・目的・育成人材像は定められているか。 (専門分野の特性が明確になっているか) | 4 | 3 | 2 | 1 | 学生便覧に明記するとともに、「介護観」「倫理観」といった心の教育、地域を大切にし、心のかもった介護を施せる人材育成に努めている。 【教職員アンケート 質問1 3.6】 |
| ・学校における職業教育の特色は何か。 | 4 | 3 | 2 | 1 | 地元の関連施設と連携を密にした実習によって、地域の介護の実態を知るとともに、卒業後に即戦力として働くことのできる人材の育成に重点を置いている。 【教職員アンケート 質問2 3.1】 |
| 社会経済のニーズ等を踏まえた学校である。 | 4 | 3 | 2 | 1 | 学校関係者評価委員、教育課程編成委員の意見を十分に把握し社会や地域のニーズに合わせて改善を行っている。 【教職員アンケート 質問3 3.4】 |
| ・学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか。 | 4 | 3 | 2 | 1 | これからの介護をリードしていくための理念や目的、学生の将来像を、学生・保護者・学校が共有し、そのニーズに合った教育活動を展開するとともに、唯一市内で学べる専門学校としてのメリットを、幅広い層にしっかり啓発している。 【教職員アンケート 質問4 3.1】 【学生アンケート 質問1 3.4】 |
| ・各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか。 | 4 | 3 | 2 | 1 | タイムリーな情報収集を行い、今求められている人材像育成のために必要な教育活動を展開できるように努力している。 【教職員アンケート 質問5 3.4】 |

①課題

吉岐市内の少子高齢化が進む中、保護者はじめ地域社会に本校の教育目標、役割、職業観等を多くの人に理解してもらえるようになっている。高校生が激減している中、市内の介護人材をどう確保していくかが当面の課題になる。

②今後の改善方策

学校関係者評価委員会、教育課程編成委員会での丁寧な説明に加え、高校のガイダンスやオープンキャンパス、中学校進路説明会等のあらゆる場面において介護人材不足の危機感をもたせる。特に高校生に市内の現状と介護職の必要性について理解してもらえるように努力する。

③特記事項

なし

3. 評価項目の達成及び取組状況

(2) 令和7年度

| 評価項目 | 適切:4、ほぼ適切:3、 やや不適切:2、不適切:1 | | | | |
|--|-------------------------------|---|---|---|---|
| ・目的等に沿った運営方針が策定されているか。 | 4 | 3 | 2 | 1 | グループのビジョンのもとに、教育事業としての責任を十分に果たすことができるように運営方針を定めている。 【教職員アンケート 質問6 3.4】 |
| ・運営方針に沿った事業計画が策定されているか。 | 4 | 3 | 2 | 1 | 年度の振り返りをしっかり行い、地域性を配慮しながら方針に沿った具体的な次年度の事業について改善、計画を行っている。 【教職員アンケート 質問7 3.5】 |
| ・運営組織や意思決定機能は規則等によって明確化されており有効に機能している。 | 4 | 3 | 2 | 1 | 常に関係者や職員との共有を図りながら、学校経営者としての判断を行い、実行力のある組織体制の構築と実践を行いたい。 【教職員アンケート 質問8 3.1】 |
| ・人事、給与に関する規定等は整備されているか。 | 4 | 3 | 2 | 1 | 就業規則等、明確に示されている。 【教職員アンケート 質問9 3.3】 |
| ・教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか。 | 4 | 3 | 2 | 1 | 担当部署で適切に整備されている。 【教職員アンケート 質問10 3.3】 |
| ・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか。 | 4 | 3 | 2 | 1 | 学校関係者や自治体等の客観的評価によって、改善・整備がなされている。 【教職員アンケート 質問11 3.3】 |
| ・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか。 | 4 | 3 | 2 | 1 | ホームページや地元メディア等をフルに活用し情報を開示している。 【教職員アンケート 質問12 3.1】 |
| ・情報システム化等による業務の効率化が図られているか。 | 4 | 3 | 2 | 1 | 十分とは言えないが、必要に応じて随時行っている。 【教職員アンケート 質問13 2.8】 |

①課題

働きやすい職場づくりを目指しつつも、適切かつ積極的な情報公開に努め、地域や学生全体に対して年度当初の目標の達成に向けて全職員で取り組む。

②今後の改善方策

項目別にいつまでに何をどこまでという具体的な目標を、数値目標で示し実行していく。

③特記事項

なし

3. 評価項目の達成及び取組状況

(3) 令和7年度

| 評価項目 | 適切:4, ほぼ適切:3, やや不適切:2, 不適切:1 | | | | |
|--|---------------------------------|---|---|---|--|
| ・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか。 | 4 | 3 | 2 | 1 | 学校関係者評価委員会・教育課程編成委員会の開催や関連業界と連携し実践的な職業教育はできている。 【教職員アンケート 質問14 3.3】 |
| ・教育理念, 育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか。 | 4 | 3 | 2 | 1 | 養成施設指定規則に基づき、各学年適切な時数を確保している。また、現在の留学生の日本語能力は高い。 【教職員アンケート 質問15 3.1】 |
| ・学科のカリキュラムは体系的に編成されている。 | 4 | 3 | 2 | 1 | 適切に編成を行っている。 【教職員アンケート 質問16 3.4】 |
| ・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか。 | 4 | 3 | 2 | 1 | 客観的な意見を参考にしながら、実践的で効果的な工夫を行っている施設での実習は、計画通りにできている。 【教職員アンケート 質問17 3.0】 |
| ・関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ, 実技・実習等)が体系的に位置づけられているか。 | 4 | 3 | 2 | 1 | 実習先との連携を密にし、時代の変化に対応した現場で求められている知識や技能の習得に努め、施設実習に繋げている。 【教職員アンケート 質問18 3.4】 |
| ・授業評価の実施・評価体制はあるか。 | 4 | 3 | 2 | 1 | 評価基準に基づいて、適正に評価できる体制が整っている。 【教職員アンケート 質問19 3.3】 |
| ・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか。 | 4 | 3 | 2 | 1 | 教育課程編成委員会、学校評価委員会を開催し、改善すべき点については随時改善している。 【教職員アンケート 質問20 3.1】 |
| ・成績評価・単位認定, 進級・卒業判定の基準は明確になっているか。 | 4 | 3 | 2 | 1 | 適切に実施し、管理を行っている。 【教職員アンケート 質問21 3.6】 |
| ・資格取得等に関する指導体制, カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか。 | 4 | 3 | 2 | 1 | 地域性を考慮しながら、規程に基づき、全学生が資格を取得できるように適切に位置づけられている。 【教職員アンケート 質問22 3.3】 |
| ・人材育成目的の達成に向けた授業を行うことができる要件を備えた教育を確保している。 | 4 | 3 | 2 | 1 | 十分とは言えないものの、資質要因を満たした教員が確保できている。職員のじゅぎいおうに対する意識も高い。 【教職員アンケート 質問23 3.0】 |
| ・関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含む)を確保するなどマネジメントが行われているか。 | 4 | 3 | 2 | 1 | 自己の実務経験を活かすとともに、新しい知識や技術を維持するため自己研鑽や他校の授業授業参観等の研修を行い、資質の向上に努めている。 【教職員アンケート 質問24 2.9】 |
| ・関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか。 | 4 | 3 | 2 | 1 | 自主的な教材研究による自己の授業力向上に努めている。行動制限が緩和され、外部の研修にも参加しやすくなった。 【教職員アンケート 質問25 3.0】 |
| ・職員の能力開発のための研修等が行われているか。 | 4 | 3 | 2 | 1 | 年2回の対面での研修に参加するように推奨している。 【教職員アンケート 質問26 3.0】 |

①課題

年間を通じた計画的な国家試験への動機付けを行っている。日本人学生だけでなく、全学生に対し、国家試験合格・実践的な技術を身に付けさせることを目的としており、確実に成果が出ている今年度の合格率は全体で92%であった。

②今後の改善方策

目標達成に向けてのモチベーションの維持、職員・学生が現状を把握し、目的達成に向けた具体的なプランを作成する。

③特記事項

なし

3. 評価項目の達成及び取組状況

(4) 令和7年度

| 評価項目 | 適切:4、ほぼ適切:3、 やや不適切:2、不適切:1 | | | | |
|---|-------------------------------|---|---|---|--|
| ・就職率の向上が図られているか。 | 4 | 3 | 2 | 1 | 連携施設や市内関連施設との連携のもとに、就職率は100%である。 【教職員アンケート 質問27 3.1】 【学生アンケート 質問2 3.5】 平均3.3 |
| ・資格取得率の向上が図られているか。 | 4 | 3 | 2 | 1 | 定期的な模擬試験の実施、自己の振り返りや反復学習を行い、全員合格を目指して指導している。留学生も高い意識をもって取り組んでいる。 【教職員アンケート 質問28 3.5】 【学生アンケート 質問3 3.7】 平均:3.6 |
| ・退学を未然に防ぐ体制が整っている。 | 4 | 3 | 2 | 1 | 相談にはいつでも対応できる体制が整っている。また、定期的に学生との面談も実施している 【教職員アンケート 質問29 3.4】 【学生アンケート 質問4 3.3】 平均:3.4 |
| ・卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか。 | 4 | 3 | 2 | 1 | 卒業後の進路についてはほぼ把握できている。 【教職員アンケート 質問30 2.9】 【学生アンケート 質問5 2.3】 平均:2.6 |
| ・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか。 | 4 | 3 | 2 | 1 | 在校生の就労意欲を高めるために有効に情報を活用している。 【教職員アンケート 質問31 3.0】 【学生アンケート 質問6 3.5】 平均3.3 |

①課題

国家試験の日本人学生100%の合格と一人でも多くの留学生の合格が最大の目標である。日本人全員、留学生が7名中6名が合格した。毎年留学生の力や質が変わるのでその年度の学生に応じた有効な対策が必要である。

②今後の改善方策

前年度の振り返りを基に課題や改善点を明確にし、それに応じた指導を積み重ねていく。学生にも模擬試験の結果から自己分析を行わせ、苦手分野の克服に当たる。2年生になってから慌てて勉強するのではなく、2年間のスパンでの国家試験受験への意識を高め、計画的な学習ができるように指導する。次年度から1年生も、週に1コマ国家試験対策の時間を設けるようにしている。

③特記事項

なし

3. 評価項目の達成及び取組状況

(5) 令和7年度

| 評価項目 | 適切:4、ほぼ適切:3、 やや不適切:2、不適切:1 | | | | |
|--|-------------------------------|---|---|---|--|
| ・進路・就職に関する支援体制は整備されているか。 | 4 | 3 | 2 | 1 | 日本人学生、留学生ともに安心して就職できる体制が整っている。 【教職員アンケート 質問32 3.3】 【学生アンケート 質問7 3.3】 平均:3.3 |
| ・学生相談に関する体制は整備されているか。 | 4 | 3 | 2 | 1 | 定期的に学生の思いや悩みについての面談を実施している。日頃から学生に目を配り指導するとともに、情報を共有している。 【教職員アンケート 質問33 3.5】 【学生アンケート 質問8 3.6】 平均:3.6 |
| ・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか。 | 4 | 3 | 2 | 1 | 奨学金制度、減免制度等丁寧に説明し、経済状況に応じた学費の納入についての相談にも真摯に応じている。 【教職員アンケート 質問34 3.4】 【学生アンケート 質問9 3.3】 平均:3.4 |
| ・学生の健康管理を担う体制はあるか。 | 4 | 3 | 2 | 1 | 年度当初に健康診断を実施。健康安全、衛生管理についても細心の注意を払い、感染症予防対策を行っている。病院での受診等にも職員が同行している。 【教職員アンケート 質問35 3.4】 【学生アンケート 質問10 3.8】 平均:3.6 |
| ・課外活動に対する支援体制は整備されているか。 | 4 | 3 | 2 | 1 | アルバイトでなかなか時間が確保できていないが、地域行事や地域ボランティア活動に参加できる体制は整っている。 【教職員アンケート 質問36 3.1】 【学生アンケート3.0 質問11 2.9】 平均:3.0 |
| ・学生の生活環境への支援は行われているか。 | 4 | 3 | 2 | 1 | 学校と学生寮が隣接しており支援できる体制が整っている。買い物やアルバイトの送迎も学校で責任を持って行っている。 【教職員アンケート 質問37 3.1】 【学生アンケート 質問12 3.2】 平均:3.2 |
| ・保護者と適切に連携しているか。 | 4 | 3 | 2 | 1 | 全職員で丁寧な対応ができる体制が整っている。日本人学生の保護者とは十分な連携が取れている。 【教職員アンケート 質問38 3.0】 【学生アンケート 質問13 3.4】 平均:3.3 |
| ・卒業生への支援体制はあるか。 | 4 | 3 | 2 | 1 | 安心して次のステップに進むことができるように、在留カードの申請や各種手続きをサポートしている。 【教職員アンケート 質問39 2.9】 【学生アンケート 質問14 3.2】 平均:3.1 |
| ・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか。 | 4 | 3 | 2 | 1 | 必要に応じて随時環境整備を行っている。 【教職員アンケート 質問40 3.0】 【学生アンケート 質問15 2.9】 平均:3.0 |
| ・高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取り組みがなされている。 | 4 | 3 | 2 | 1 | 島内の高校や中学校との連携を密にし、ガイダンス・進路説明会等で吉崎市で学ぶ魅力や、介護職の必要性についても積極的に発信している。 【教職員アンケート 質問41 2.9】 |

①課題

卒業後、卒業生や就職先との連絡等は必要に応じて行っている。できるだけ本人との連絡体制を整えておく必要がある。しかし数年が経ちジョブチェンジした後の職場まではなかなか把握できていない。

②今後の改善方策

卒業後の連絡手段について、本人と卒業前に打ち合わせを行い、確実に連絡が取れる体制を整える。

③特記事項

学生への経済的支援は、県・市・連携施設との相互連携により、十分な体制を構築しているし、学生にも周知している。

3. 評価項目の達成及び取組状況

(6) 令和7年度

| 評価項目 | 適切:4、ほぼ適切:3、 やや不適切:2、不適切:1 | | | | |
|--|-------------------------------|---|---|---|---|
| ・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか。 | 4 | 3 | 2 | 1 | 施設基準は十分に満たされており、必計画的に備品の整備もいる。り古くなったものから順に新しいものに変えている。 【教職員アンケート 質問42 2.6】 【学生アンケート 質問16 2.9】 平均2.8 |
| ・学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか。 | 4 | 3 | 2 | 1 | 関連施設のご協力によって、計画していた施設実習を行うことができている。 【教職員アンケート 質問43 3.0】 【学生アンケート 質問17 3.6】 平均:3.3 |
| ・防災に対する体制は整備されている。 | 4 | 3 | 2 | 1 | 市内の消防署・警察署の協力を得て、学生が安心して生活学習ができるように、避難訓練や防災教育・防犯教育を行っている。 【教職員アンケート 質問44 3.3】 【学生アンケート 質問18 3.2】 平均:3.3 |

①課題

アルバイトの時間がまちまちなので、全員の安否を確実に把握できる体制づくりが必要。

②今後の改善方策

年度当初の避難訓練だけでなく、普段の寮生活での防災意識を高めるために、定期的な情報提供・教育を行う。設備については、寮と共有部分があるので、学生のニーズにできるだけ応えられるように努力する。

③特記事項

防災訓練(自身・津波避難訓練を含む)および、年2回の消防点検を実施することにより、防災意識の昂揚に努めている。また、消火器やAEDの使用法についての研修も行っている。

3. 評価項目の達成及び取組状況

(7) 令和7年度

| 評価項目 | 適切:4、ほぼ適切:3、 やや不適切:2、不適切:1 | | | | |
|--|-------------------------------|---|---|---|---|
| ・学生募集活動は、適正に行われているか。 | 4 | 3 | 2 | 1 | 多くの学生に入学してもらえるように、年間を通じて適正に募集活動を行っている。 【教職員アンケート 質問45 3.4】 |
| ・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか。 | 4 | 3 | 2 | 1 | 地元出身者は市内で就職しており、ここ数年は試験の合格率も100パーセントであるので、高校生をはじめ、保護者の関心も高くなってきている。 【教職員アンケート 質問46 3.5】 |
| 入学希望者に対して授業内容や国家試験合格率などの質問に適切に回答できている。 | 4 | 3 | 2 | 1 | 十分に説明を行った上で志願者を募集しているし、理解して入学している。 【教職員アンケート 質問47 3.5】 【学生アンケート 質問19 2.7】 平均:3.1 |

①課題

唯一宮崎市内にある専門学校であることのメリットをもっと推して、学生の確保に努める。日本人学生からは、自宅から通えるということで経済的にも、精神的にも楽であるという意見が多い。

②今後の改善方策

高等学校等との連携を深め、学生の情報を伝えるとともに、長期的な効果を狙った中学生進路説明会等で本校の魅力を十分に伝える。社会人の募集についても、従来の広報活動に加え、SNSやケーブルテレビ等、地域生活に密着した媒体を継続して活用する。留学生についても、目的意識を明確にし、いったん入学したら、卒業までしっかり頑張るんだという意識・意欲を高めさせたい。今後は留学生が主体となることが予想されるので、外部からの留学生の募集にも力を入れる。

③特記事項

学校関係者評価委員会の委員の意見を尊重した広報活動に注力したい。

3. 評価項目の達成及び取組状況

(8) 令和7年度

| 評価項目 | 適切:4、ほぼ適切:3、 やや不適切:2、不適切:1 | | | | |
|----------------------------|-------------------------------|---|---|---|---|
| ・中期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか。 | 4 | 3 | 2 | 1 | 日本の少子高齢化に伴い、入学生の確保が今後の課題である。 【教職員アンケート 質問48 3.3】 |
| ・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか。 | 4 | 3 | 2 | 1 | 予算決算は理事会・評議員会の承認を得て、適切に管理されている。 【教職員アンケート 質問49 3.3】 |
| ・財務について会計監査が適切に行われている。 | 4 | 3 | 2 | 1 | 内部監査・外務監査を行い、会計、業務共に適切に処理、運営がなされている。 【教職員アンケート 質問50 3.5】 |
| ・財務情報公開の体制整備はできているか。 | 4 | 3 | 2 | 1 | HP等にも公開されている。 【教職員アンケート 質問51 3.1】 |

①課題

少子高齢化の進展は離島地域において特に顕著である。このような状況の中、地元に残る高校生の大切な進路先になるよう努め、安定した学生募集に努めたい。留学生が学生数の過半数を占める状況を鑑み、長期的なマネープランの立案および適切な校納金の納付を支援する必要がある。

②今後の改善方策

留学生に対しては校納金が停滞しないように、適切なマネープラン提示・指導する。また、すべての入学希望者に対して各種学費支援制度の情報提供を行うことで修学に対する不安を軽減し、入学者の確保につなげる。壱岐で学ぶことのメリットをしっかりと伝えていく。

③特記事項

なし

3. 評価項目の達成及び取組状況

(9) 令和7年度

| 評価項目 | 適切:4、ほぼ適切:3、 やや不適切:2、不適切:1 | | |
|---------------------------------|-------------------------------|---|--|
| ・法令、専修学校設置基準等の遵守と適性な運営がなされているか。 | 4 (3) 2 1 | 法令に従い、学校運営に関する文書等は適切に処理、管理、保存されている。 【教職員アンケート 質問52 3.1】 | |
| ・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか。 | 4 (4) 3 2 1 | セキュリティも十分であり、個人情報の管理は適切に行われている。 【教職員アンケート 質問53 3.5】 | |
| ・自己評価の実施と問題点の改善を図っている。 | 4 (4) 3 2 1 | 学生、職員の自己評価や学校評価をもとにした校長としての自己評価を行い、年度の検証、次年度の改善に繋げている。 【教職員アンケート 質問54 3.5】 | |
| ・自己評価結果を公開しているか。 | 4 (3) 2 1 | HPで公開している。 【教職員アンケート 質問55 3.4】 | |

①課題

自己評価の結果を次年度の学校運営に十分に活用し、次年度の学校運営に当たる。

②今後の改善方策

自己評価の結果を教職員間で共有するとともに、各職員自身が改善・改革意識をもって業務に臨む。
また、学生に対しても学校評価アンケートのフィードバックとして改善点を周知し、学校運営への参画意識を共有する。

③特記事項

なし

3. 評価項目の達成及び取組状況

(11) 令和7年度

| 評価項目 | 適切:4、ほぼ適切:3、 やや不適切:2、不適切:1 | | | |
|---------------------------------------|-------------------------------|---|-----|---|
| ・留学生の受入れ・派遣について戦略を持って行っているか。 | 4 | ③ | 2 1 | 可能な限り多くの学生の受け入れを行っている。 【教職員アンケート 質問59 3.1】 |
| ・留学生の受入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか。 | ④ | 3 | 2 1 | 担当者が丁寧な対応を行っている。 【教職員アンケート 質問60 3.5】 |
| ・留学生お学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されている。 | ④ | 3 | 2 1 | 学生の生活指導は随時行っている。またオーバーワーク等がないようにアルバイトの時間の管理は厳格に行っている。 【教職員アンケート 質問61 3.5】 |
| ・学習成果が国内外で評価される取組を取っているか。 | 4 | ③ | 2 1 | 十分に評価されるべき取り組みは行っていると思うが、思うような発信ができておらず、評価がしにくい。 【教職員アンケート 質問62 2.8】 【学生アンケート 質問21 2.5】 平均2.7 |

①課題

留学生の日本語能力が、国家試験合格に直結するといっても過言ではない。国によって活習慣や基本的考え方の違いが大きいですが、長期的に日本で生活を考えている学生が多いので、日本文化を理解させ、基本的な生活習慣を身に付けさせることが大切。

②今後の改善方策

日本語力が高い留学生は学習意欲も高い。近年、留学生の日本語能力が高くなりその成果は著しい

③特記事項

なし

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

1 ビジョン

地域のすべての産業と高齢社会を包括的に支援できる組織になる。

2 ビジョンの実現に向けたテーマ

地域社会から必要とされる組織であり続ける。

地域社会から必要とされる人材を提供する。

3 学校経営スローガン

- ・「地域のために」の精神を大切にし、心のこもった介護を施せる人材を育成する。
- ・地域の関連施設との連携を密にした充実した実習を実施する。
- ・学生一人一人を大切にする教育活動を実践する。

4 重点教育目標

(1)教員の研鑽に基づいた授業内容のさらなる充実に努める

(2)①介護福祉士国家試験合格率及び就職率100%(日本人学生)を達成する。

②留学生についても70パーセントを目標に国家試験合格に向けた指導を行う。

(3)効率的な学生募集に努める。(日本学生10、留学生15)

(4)一人一人充実感を味わえる教育活動を行う。

(5)留学生の安全安心100%担保できるように努める。

(6)凡事徹底に努め、組織として動く。

(7)全感染症予防対策の徹底を図る。

5 具体的な対策

(1)授業力向上に向けた研修会参加を奨励するとともに、実習施設との連携強化を図る。(新しい実習先の開拓)

(2)効果的な模擬試験、補講を実施し、自己分析と学習時間を十分に確保させる。
1年時から週一コマの国家試験対策の時間を設ける(自己学習の時間を活用)

(3)担当教員による進路具現化に向けた効果的な個別面談を定期的実施する。

(4)関連施設と連携した就職面談会、施設訪問を早い段階で実施する。

(5)ガイダンス、オープンキャンパス、進路説明会の広報内容の充実と、
SNS・地元メディア等を有効に活用した効果の高い広報活動を実施する。

(6)留学生担当、担任による生活面全般における面談をできるだけ多く実施する。

(7)職員間の報告、連絡、相談体制を強化し、活気あふれた職場づくりを行う。

(8)教職員、学生による全感染症の予防対策を徹底する。

(9)職員の共通理解共通指導によって、学校全体・寮での決まりを遵守させ、
規則正しい健全な団体生活を送らせる。

6 地域社会との関係

(1)地域の公民館との連携し、地域の行事には積極的に参加・協力する。

(2)ボランティア活動(他団体との連携)への積極的参加を図る。

(3)市内の介護をリードする人材を育成するという教育事業としての責任を果たす。

1. 学校の教育目標 令和8年度

1 ビジョン

地域のすべての産業と高齢社会を包括的に支援できる組織になる。

2 ビジョンの実現に向けたテーマ

地域社会から必要とされる組織であり続ける。
地域社会から必要とされる人材を提供する。

3 学校経営スローガン

- ・ 「地域のために」の精神を大切にし、心こもった介護を施せる人材を育成する。
- ・ 地域の関連施設との連携を密にした充実した実習を実施する。
- ・ 学生一人一人を大切にする教育活動を実践する。

4 重点教育目標

- (1) 教員の研鑽に基づいた授業内容のさらなる充実に努める
- (2) ①介護福祉士国家試験合格率及び就職率100%(日本人学生)を達成する。
②留学生についても70パーセントを目標に国家試験合格に向けた指導を行う。
- (3) 効率的な学生募集に努める。(日本学生10、留学生15)
- (4) 一人一人充実感を味わえる教育活動を行う。
- (5) 留学生の安全安心100%担保できるように努める。
- (6) 凡事徹底に努め、組織として動く。
- (7) 全感染症予防対策の徹底を図る。

5 具体的な対策

- (1) 授業力向上に向けた研修会参加を奨励するとともに、実習施設との連携強化を図る。(新しい実習先の開拓)
- (2) 効果的な模擬試験、補講を実施し、自己分析と学習時間を十分に確保させる。
1年時から週一コマの国家試験対策の時間を設ける(自己学習の時間を活用)
- (3) 担当教員による進路具現化に向けた効果的な個別面談を定期的実施する。
- (4) 関連施設と連携した就職面談会、施設訪問を早い段階で実施する。
- (5) ガイダンス、オープンキャンパス、進路説明会の広報内容の充実と、SNS・地元メディア等を有効に活用した効果の高い広報活動を実施する。
- (6) 留学生担当、担任による生活面全般における面談をできるだけ多く実施する。
- (7) 職員間の報告、連絡、相談体制を強化し、活気あふれた職場づくりを行う。
- (8) 教職員、学生による全感染症の予防対策を徹底する。
- (9) 職員の共通理解共通指導によって、学校全体・寮での決まりを遵守させ、規則正しい健全な団体生活を送らせる。

6 地域社会との関係

- (1) 地域の公民館との連携し、地域の行事には積極的に参加・協力する。
- (2) ボランティア活動(他団体との連携)への積極的参加を図る。
- (3) 市内の介護をリードする人材を育成するという教育事業としての責任を果たす。